平成２３年（２０１１年）３月１４日
中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり特別委員会資料
まちづくり推進室拠点まちづくり担当

現北口駅前広場及び東西連絡路に係る整備内容について

中野駅地区第１期整備に対応した、現北口駅前広場・東西連絡路に係る基本設計段階の計画がまとまったのでその概要を報告する。

これに基づき現在実施設計を進めており、本年夏ごろには当該工事に着手し、平成２４年春の竣功を目指す。

１．現北口駅前広場等整備概要

（１）安全な歩行者空間の確保

中野駅周辺まちづくりの進捗に対応し、中野駅地区第１期整備では、現北口駅前広場を歩行者中心の広場として再整備し、合わせて中野駅北口改札を駅前広場に面するように配置するとともに、警察大学校等跡地整備によって増大する歩行者交通の安全を確保するため中野通り上空に東西連絡路を整備する。

（別添資料：現北口駅前広場・東西連絡路等計画概要図を参照）

（２）ユニーバーサルデザインに配慮した施設整備

より安全な歩行者空間とするため、特に東西方向に著しい高低差のある広場内の勾配の緩和を図ることと合わせて、北口改札前の段差を解消するとともに、雨に濡れない歩行者動線を確保するための上屋を設けるなど、ユニーバーサルデザインに配慮した整備を進める。

（別添資料： 現北口駅前広場・東西連絡路等整備　全体イメージ図を参照）

２．施設整備イメージ

現北口駅前広場及び東西連絡路における主な整備内容は、以下のとおりであり、この具体的な内容についてイメージ図により説明する。

（１）　ユニバーサルデザインに配慮した東西連絡路

東西連絡路は幅約１３ｍ（有効幅員約１１ｍ）で、中野通り上空で新北口駅前広場と現北口駅前広場をつなぐ。現北口駅前広場から東西連絡路へ上がる歩行者動線としては、階段の活用とあわせ、エレベーターやエスカレーターを南側に寄せて整備し、歩行者の動線部分には上屋を設けることで、ユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線を確保する。

（別添資料：東西連絡路等整備イメージ図を参照）

（２）　雨に濡れない広場内歩行者動線の確保

現在、主要な歩行者動線となっているサンモールの入口と新たに広場に向けて改修する北口改札との間には、上屋を設け、雨にぬれることない歩行者動線を確保する。

（別添資料：東西連絡路等整備イメージ図を参照）

（３）　広場内の勾配の緩和

現在の北口広場はバス乗降場があるため、広場の西側は中野通りとほぼ同じ高さとなっており、東西方向の最大約２．４ｍの高低差は広場東側で大きな勾配を生じさせている。整備にあたっては、バス乗降場のあった部分等については盛土を行ない、サンモール入口や新たに広場に向けて改修する北口改札とが平坦となるよう整備する。この結果、広場全体としてはバリアフリー基準を満たすなだらかな勾配の広場として再整備されることとなる。

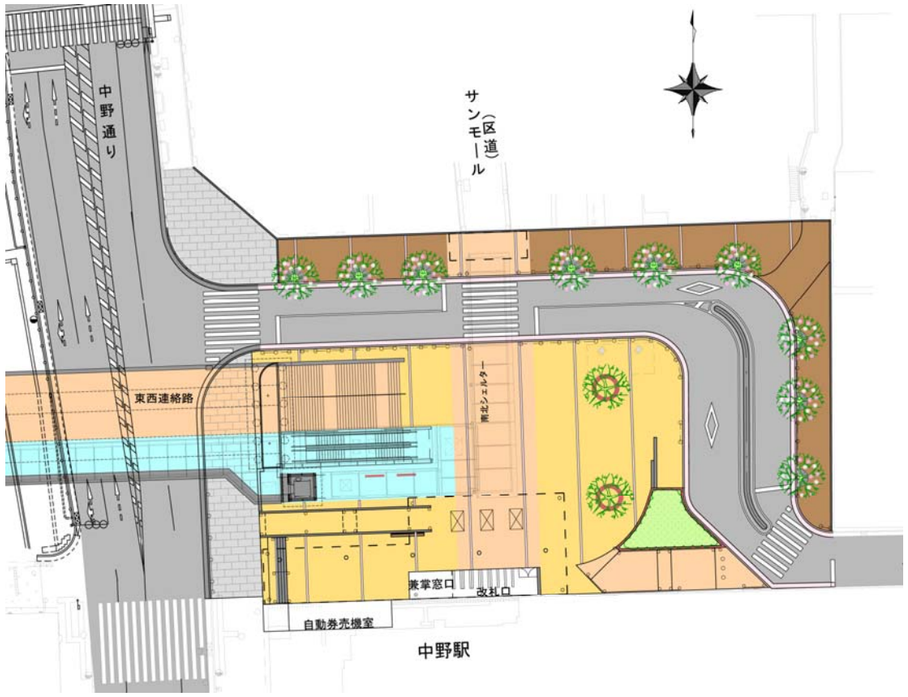
（別添資料：　現北口駅前広場・東西連絡路等整備　全体イメージ図を参照）

なお、第１期整備段階では広場と中野通り現北口改札前横断歩道との関係で、最大０．７ｍ程度の高低差が生じ、スロープと階段により処理することとなるが、第二期整備完了段階では現北口改札前横断歩道が撤去され、この段階では中野通り歩道を嵩上げすることで、段差解消を図ることが可能となる。

（別添資料：中野通り段差イメージ図を参照）

別添資料

現北口駅前広場・東西連絡路計画概要図



現北口駅前広場・東西連絡路等整備　全体イメージ図ー①

広場北東側から改札方向を望む

現北口駅前広場・東西連絡路等整備　全体イメージ図ー②

広場南東側から区役所方向を望む

現北口駅前広場・東西連絡路等整備　全体イメージ図ー③

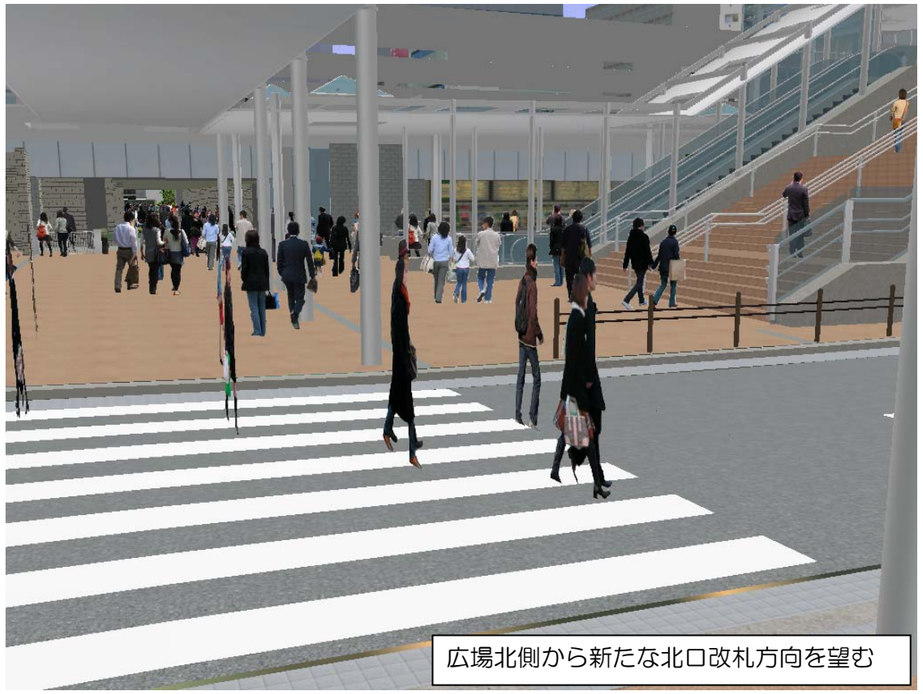
東西連絡路から広場東側方向を望む

東西連絡路等整備イメージ図ー①

東西連絡路等整備イメージ図ー②

雨に濡れない歩行者動線イメージ図ー①

雨に濡れない歩行者動線イメージ図ー②



中野通り側段差イメージ図ー①

中野通りから現北口改札方向を望む

第１期整備段階

北口横断歩道との関係で広場との段差が生じるため、バリアフリースロープを設ける

中野通り側段差イメージ図ー②

中野通りから現北口改札方向を望む

第２期整備段階

北口横断歩道が不要になった段階で、中野通りの歩道を嵩上げし、平坦に再整備する